

Since1962. 広報湯前
あなたとまちをつなぐ情報誌

YUNOMAE

大きくなれよ～

8

The Monthly
Public Relations
Aug_2024
Vol.518



団体競技 躍進

ソフトテニス団体連覇
ゲートボール団体男子優勝



5月～7月にかけて球磨人吉の各会場で「第74回球磨郡民体育祭」が開かれ、本町からは15競技に出場。種目ごとの成績を紹介します。

※陸上競技は雨天のため中止
※ゴルフは10月に開催予定

【大会結果】※抜粋

ソフトテニス

団体 ①湯前町

個人一般男子

①高橋 颯汰(馬場)・

迫田 拓巳(中里2)・ベア

②古市 拓也(上里3)・

荒木 龍二(野中田3)・ベア

個人一般女子

①古賀 成美(田上)・

谷口 円佳(上村)・ベア

テニス

団体 ④湯前町

〈軟式野球〉 ②湯前町A

〈卓球〉

団体 ③湯前町

女子個人

60歳以上 ③有馬 佐代子(田上)

〈ボウリング〉

団体 ④湯前町

〈バスケットボール〉

④ 湯前町

〈アーチェリー〉

団体 ②湯前町

個人 ②黒木 宏丞(瀬戸口)

〈弓道〉

団体 ②湯前町

個人男子 ②向江 富士夫(植木)

個人女子 ②向江 恭子(植木)

〈四半的弓道〉

団体 ③湯前町A

個人 ②米良 典明(下里)

〈グラウンドゴルフ〉

団体男子 ③湯前町

団体女子 ④湯前町

個人男子 ②大石 堅(瀬戸口)

ダイヤモンド賞 大石 堅(瀬戸口)

※8ホールでホールインワンを3回以上達成した人に贈られる賞

女子個人 ④吉村 トモエ(浅鹿野)

〃 ⑤岩竹 とし代(田上)

〈ゲートボール〉

団体男子 ①湯前町

団体女子 ④湯前町

〈銃剣道〉

団体 ②湯前町

個人 ②森下 一富(馬場)

〃 ③黒木 真也(上里3)

〈水泳(個人)〉

25歳背泳ぎ

65歳74歳 ①橋本 房人(上里1)

55歳64歳 ②高木 堅介(上村)

25歳平泳ぎ

65歳74歳 ③樫木 忠雄(古城)

25歳バタフライ

25歳34歳 ②林 浩平(下城)

25歳自由形

45歳54歳 ①岩野 昌英(下染田)

35歳44歳 ③工藤 陽平(下城)

25歳34歳 ①郷 峻太(上里1)

〃 ③永田 幸太郎(古城)

50歳背泳ぎ

65歳74歳 ①橋本 房人(上里1)

50歳平泳ぎ

65歳74歳 ②樫木 忠雄(古城)

55歳64歳 ③高木 堅介(上村)

50歳自由形

25歳34歳 ②郷 峻太(上里1)

〃 ③林 浩平(下城)

4x1000メートルリレー

25歳34歳 ①湯前町

4x1000メートルリレー

25歳34歳 ①湯前町

4x2000メートルリレー

25歳34歳 ①湯前町

全国制覇を目指して練習の日々

空手クラブ陽心館 個人・団体で奮闘



「第41回熊本県少年少女空手道錬成大会」が5月3日に菊池市総合体育館で開かれ、本町の空手クラブ陽心館が個人組手の部に出場。小学3年男子の部で米良おあらさん(野中田3)が3位、小学6年男子の部で中田剛瑠さん(上里1)が準優勝という成績を残しました。二人は8月8～10日に東京武道館で開催される「第

24回全日本少年少女空手道選手権大会」に出場します。

米良さんは「県大会で個人3位になってうれしかった。全国大会では県大会での反省を生かして頑張りたい」、中田さんは「緊張に押しつぶされそうになったけれど、試合中は勝つことしか頭になかった。自分のパフォーマンスで会場を沸かせたい」と話しました。

5月26日には「第35回熊本県中学校空手道大会」が開かれ、同クラブが団体組手の部に出場。見事に優勝を果たし、8月22～24日にエディオンアリーナ大阪で開催される「第32回全国中学生空手道選手権大会」に出場します。

団体メンバーの那須優斗さん(湯前中3年＝上村)は「初戦から一つ一つの技を大切にポイントを取り、緊迫した状況の中でも勝ち抜くことができた。全国大会では完全制覇を目指して、圧倒的な勝利を目指したい」と意気込みを語りました。

傑作品ずらり

慈光こども園作品展



1 エントランスに広がる海の生き物たち
2 海いっぱい広がる魚たち

7月1～20日、慈光こども園エントランスで作品展が開かれました。0～6歳児が「海の世界」というテーマをもとに制作。約1カ月で完成させ、玄関～エントランスは海の世界となりました。階段の手すりには巨大なタコとイカが、壁には魚たちが泳いでいる姿が出現。暑い日々が続いている中でも、エントランスは涼しく感じられ、来場者を和ませました。

吉武絵里園長は「8月にも別の展示を予定している。皆さんに喜んで楽しんでもらえたら」と話しました。

演劇・笑い・ダンス

小学校芸術鑑賞会

7月8日、湯前小学校体育館で芸術鑑賞が開かれ、福岡市で活動している劇団ショーマンシップの『ないた赤おに』を鑑賞しました。

浜田廣介さんの原作『泣いた赤鬼』を忠実に再現しながらも、所々に笑いを誘うシーンが取り入れられ、児童たちは大爆笑。児童を代表して荒木陽葵さん(6年＝野中田3)は「本で読んだ『泣いた赤鬼』より赤鬼の気持ちがすごく伝わってきた。登場人物の気持ちがみんなに分かるようにセリフを言い換えていて、すごいなあと思った。また違う劇も観てみたいと思った」と話しました。



赤鬼と青鬼の一場面と爆笑する児童たち

ゆっくんで歯科指導

子ども議会での提案を実現

6月19日に湯前町保健センターで行われた幼児歯科検診で、保健福祉課の熊部英恵栄養士がゆっくんを用いたイラストで歯磨きの大切さを伝えました。

昨年10月に開いた子ども議会で、当時の湯前中3年生が「歯磨きをせず虫歯になってしまったゆっくんのイラストを使って保育園や小学校などで歯磨き指導を行うこと」を提案。同課職員が虫歯予防を呼びかけるためのイラストとして作成し、提案を実現させました。

今回、初めてイラストを見た人は「子どもも理解していたので、分かりやすいと思う。家庭でも利用しようと思った」と話しました。



親子に歯磨きの説明をする職員



きれいな歯と虫歯のゆっくん

半年ぶりの再会

あゆみの会七夕まつり

6月30日、湯前町農村環境改善センターで「あゆみの会心の交流『七夕まつり』」が開かれました。障がいを持つ人と家族やボランティア、地域住民が心を通わせ、地域で支えあう関係をつくることを目的に開催されていて、ことしで25回目を迎えました。

ことしの参加者は約70人。同会の会長を務める地内豊子さん(80＝植木)が「皆さんと会えて良かった。今日1日楽しもう」とあいさつをしてスタート。「なずなの会」による朗読劇や「アンサンブル楓」による音楽パフォーマンス、イス取りゲームなどのレクリエーションなどあり、参加者全員で盛り上がりしました。最後は「また半年後に会いましょう」を合言葉に、全員で握手を交わしました。



あゆみの会による朗読劇、アンサンブル楓による音楽パフォーマンス

人のうごき

6月

人口＝3476人

(男＝1649 女＝1827)

世帯＝1519世帯

※6月30日時点

結婚おめでとう

潘 昶奎(大韓民国)

長田 葉月(中里1)

田中 航太(上里3)

中根 未来(人吉市)

誕生おめでとう

黒木 蛭瑠(野中田3)

大地・莉紅

ご冥福をお祈りします

椎葉 アチ子(田上)

米良 廣二(野中田3)

豊永 郁夫(野中田2)

西ノ原 秀明(鹿児島市)

香典返し

菖蒲 由利(上里3)

豊永 豊子(野中田2)

米良 久美子(野中田3)

出生祝い金贈呈



黒木 蛭瑠 ちゃん(野中田3) R6.6.7 生

大地・莉紅

メッセージ

3姉弟仲良く元気に育ってほしい

児童と高齢者の世代間交流

ふれあい交流会

7月1日、湯前小学校体育館で「ふれあい交流会」が開かれ、4年生児童32人と町内の一人暮らしの高齢者ら6人が参加。ゲームを通して一緒に楽しいひとときを過ごしました。

児童らは当日に向けてモルックや輪投げなどのゲームに必要な道具の準備や進行・説明の練習に没頭。本番は思うように上手くいかないこともありましたが、最後まで笑顔は絶えませんでした。高齢者の皆さんも児童と打ち解けてゲームに集中しました。

交流を終えて、牧野航大さん(下村)は「ドキドキしながらゲームができて楽しかった。地域の皆さん、これからも元気でいてください」と話しました。高齢者らを代表して東キヨ子さん(95＝野中田2)は「子どもたちのあいさつがいい。一日の始まりはあいさつから。これからも元気なあいさつをしてほしい。この交流会を続けてほしい。みんなの姿を見て安心した」と話しました。



1_ ボールが箱に入って歓喜する児童と高齢者 2_ 児童発案の輪投げを楽しむ高齢者 3_ 高得点を取って喜ぶ児童

森林を通しての交流

くれないの森ゆのま森林保全活動

7月4日、株式会社紅中(大阪府)の社員11人が「くれないの森ゆのま」森林保全活動に参加。強い日差しが照りつける中、約1時間の作業に汗を流しました。

同社とは平成23年5月に第1期の「くれないの森ゆのま協定」を結び、1.85畝の町有林で植樹や間伐などの森づくり活動を実施。現在第3期目。今回は馬場地区にある八勝寺付近の町有林での作業を計画。作業前に長谷和人町長は「以前の活動でモミジを植えた場所の下刈りを行ってもらう。熱中症やケガに注意して作業してもらえればと思う。作業などを通して、さらに親しくさせていただきたいと思っている。本日はよろしくお願いします」とあいさつしました。

下刈りする面積は0.96畝で、急な斜面もある場所。手鎌を片手にモミジの周りに茂った草木を刈りました。体力的にきつい作業でしたが、日頃行わない貴重な体験に会話も弾み、笑顔で作業を終えました。



1_ 炎天下の中での下刈り 2_ 下刈りした町有林をバックに記念撮影

キク栽培に貢献

下川さんが花き園芸功労者表彰を受賞



6月13日、熊本県経済農業協同組合連合会本館(熊本市)で「令和5年度熊本県花き園芸功労者表彰式」が開かれ、下川真喜生さん(73＝上里2)が表彰を受けました。

下川さんはキク生産者の第一人者として、新技術や新品種の導入や品種選定のための情報提供など積極的に活動。黄色輪ギクの産地形成に貢献しました。平成11年から4年間務めた球磨郡市電照ギク部会長としての功績も評価されました。

表彰を受けた下川さんは「キクの生産を続けてこれたのはキク農家同士で情報共有し、切磋琢磨してこれたことが大きい。キクの生産を始めてよかった。後継者が増えてくれたらうれしい」と話しました。

クラブ活性化へ

いきいき運動クラブ代表者会

6月21日、湯前町保健センターで「いきいき運動クラブ代表者会」を開催し、代表者約30人が参加しました。同クラブは町内に24カ所ある住民主体の通いの場で、毎週百歳体操などに取り組んでいます。

グループに分かれて各クラブの取組について意見を交換。「百歳体操のほかにも、歌謡曲に合わせて運動をしている」「誰でも参加できるのに、老人会に入っていないと参加できないと思われる」など、各クラブの現状と課題を出し合い、全体で情報共有をしました。

※ほかのクラブとの交流や普及啓発・拡大を目的とする大交流会は10月25日(金)に開催予定です



代表者会の様子(手の運動、意見交換)

収穫が楽しみ

田植え体験

6月25日、上里1区内の田んぼで湯前小学校の田植え体験授業があり、5年生児童29人が手植えや田植え機の運転を体験しました。



足がハマりながらも楽しく田植え

児童たちは裸足で田んぼに入ると、立つだけで一苦労。バランスをとりながらいねいに苗を植えていきました。田植え機の運転体験では、初めての操作で戸惑いながらも慎重に動かしていました。

田植えを指導したJAくま青壮年部湯前支部の支部長、大谷友和さん(43＝野中田1)は「みんなが楽しんで田植えをできたことがよかった。みんなも来るときに観察に来てもらいたい」、体験した有馬滯さん(野中田2)は「米づくりの大変さを学んだ。おいしいお米ができるようにお世話を頑張りたい」と話しました。

個性が伸びるように

工藤維春さんを教育委員に任命

6月26日、役場町長室で「教育委員会委員辞令交付式」を開き、長谷和人町長が工藤維春さん(68＝下城)に辞令書を手渡しました。工藤さんの教育委員会委員任命は1期目で、任期は令和10年6月24日まで。

辞令書を受け取った工藤さんは「子どもたちが少なくなっている中で、個性が伸びるように手伝っていきたい。恩返しができるよう貢献したい」と話しました。



1_ 委任状を受け取る工藤さん 2_ 委任状を手に意気込み



国宝指定当時の阿弥陀如来および両脇侍像

城泉寺（浄心寺）の阿弥陀如来坐像と両脇に立つ観音菩薩・勢至菩薩の3体の仏像は、1229年（鎌倉時代）に制作されたもので、優美で柔和なお姿は、皆さんもご存じのことでしょう。しかし、大正4年の国宝（旧国宝）指定当時、現在のようなきれいなお姿ではなかったようです。

前回、湯前村国宝保存会の設立と寄附金募集について紹介しましたが、寄附金募集許可願いの中で、仏像はすでに国宝に指定され、国費の補助を受けて修理中であることが書かれていました。今回は当時の仏像修理の様子を見てみたいと思います。

仏像の損傷状況

国宝指定当時の写真を見ると、観音菩薩の右腕が途中から欠失していたり、勢至菩薩の髻が無くなっていたりと、破損していたことが分かります。仏像の表面には、江戸時代後期の天保9年（1838年）に、久米の弓削田市内という人物によって彩色が施されていました。『湯前町史』では「この弓削田市内という人は妙な

人で、たいした腕も持つてはいなかったくせに、とにかく分っているだけでも相当多数の仏像に手をかけ、いずれも拙劣極まる着色を施し、補修を行い、ほとんど台なしにしてしまった物さえ少なくない」と手厳しく評しています。城泉寺の仏像も「衣文着色拙劣ヲ極ム」（修理設計書）という状態でした。

※髪の毛を頭の上に束ねた部分

仏像の修理

状態が悪かったため、大正5年には、さっそく修理をすることになったようです。6月22日に文部大臣から修理の許可があり、6月30日～9月28日にかけて、人吉市の願成寺に設けられた修理場で、修

理が終わると、湯前村役場は村内各区に、仏像受け取りのために各区より青年1名ずつを出すようにと通知をしています。当時、湯前村は11区に分かれていましたので、11人の青年が願成寺まで仏像の受け取りに行きました。各区から選ばれたのは、那須政蔵（上村）、落合安蔵（上猪鹿倉）、深水常雄（中猪鹿倉）、桑原庄太郎（上里）、溝辺卯平（下猪鹿倉）、久保田喜由（瀬戸口）、牧

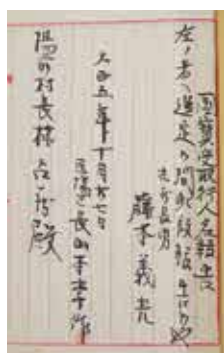
仏像の受け取り

後世の着色を洗い去り、欠失の箇所を補い、矧目の損傷を緊結し、古色仕上げとするなどの修理が行われた結果、当初の優美な姿にのみがえりました。



教育課 学芸員 松村 祥志

馬場区からの受け取り人員の報告



湯前歴史散歩

城泉寺（浄心寺）保存の歩み③



不撓不屈 中体連夏季大会

- 6月、球磨人吉の各会場で「球磨人吉中体連夏季大会」が開催。湯前中学校生徒が空手・柔道・ソフトテニス・野球に出場。1・2年生にとっては3年生と一緒に出場できる最後の大会、3年生にとっては中学校生活最後の夏季大会。悔いを残さないよう、手に汗を握る試合を繰り広げました。
- 【成績】※抜粋
- 〈空手〉
- 男子団体組手
- ①湯前中
- 男子個人組手
- ①那須 優斗（3年Ⅱ上村）
- ②村山 匠人（Ⅱ上村）
- ③石井 進太郎（Ⅱ馬場）
- ③石神 絵翔（2年Ⅱ古城）
- 〈柔道〉
- 男子個人60キ級
- 1回戦敗退
- 桑原 一丸（2年Ⅱ中里Ⅰ）
- 女子個人57キ級
- ①遠坂 日菜向（2年Ⅱ馬場）
- 〈ソフトテニス〉
- 男子団体
- 予選敗退
- 女子団体
- 決勝リーグ1回戦敗退
- 男子個人
- 2回戦敗退
- 椎葉 奈海都（3年Ⅱ下染田）
- 葉山 幸翔（2年Ⅱ上里Ⅰ）
- 財部 陽向（1年Ⅱ瀬戸口）
- 椎葉 琉心（Ⅱ野中田Ⅲ）
- 東大雅（2年Ⅱ野中田Ⅰ）
- 古市 歩夢（1年Ⅱ上里Ⅲ）
- 女子個人
- 1回戦敗退
- 井手 日珂梨（3年Ⅱ植木）
- 田爪 菜奈子（Ⅱ上里Ⅲ）
- 春日 ひおり（1年Ⅱ中里Ⅱ）
- 椎葉 京（Ⅱ下里）
- 3回戦敗退
- 服部 遥（2年Ⅱ野中田Ⅲ）
- 椎葉 美月（Ⅱ下染田Ⅱ）
- 〈野球〉
- ③湯前・多良木・水上学園・錦・球磨清流合同

NEWS 1

応募ありがとうございます

学習マンガイラストコンテスト

4月27日～7月5日まで、湯前町の小・中学生を対象に募集した「第2回学習マンガイラストコンテストin ゆのまえ」。子どもたちがマンガを読んで学んだこと、感動したことなどをイラストで自由に表現する、全国的に見ても珍しいコンテストです。ことしは昨年の73点を大きく上回る104点の力作が寄せられました。

すべての応募作品は、小・中学校の校長先生や中学校美術科の先生、まんが美術館館長、まんが美術館地域おこし協力隊が厳正に審査。受賞作を選びました。

7月19日には、小・中学校の終業式の中で表彰式を開催。湯前まんが美術館の中村富人館長から、受賞者に賞状と記念品が贈られました。イラストコンテストの応募者全員にも、まんが美術館のオリジナルポストカードをプレゼントしました。ポストカードの絵柄は、まんが美術館のシンボルである那須良輔作品です。

今回のコンテストを通じてマンガを読み、イラストを描いた皆さん一人ひとりが、自分の思いを形にする力を育んでくれたら幸いです。応募してくれた皆さん、ありがとうございました！

- 1 最優秀作品 小学生の部「ともだち」
- 2 最優秀作品 中学生の部「知ろうとすることつながる思い」



Pickup

広報湯前 良輔アーカイブ展

湯前まんが美術館でデジタルアーカイブされた、那須先生の魅力あふれる作品をピックアップ！



『涼み棚』

那須先生のことば

一番楽しかった思い出は、夏休みになると毎年裏の上の木の枝に父が涼み棚を作ってくれたことだ。ここの涼しい木陰で蝉の声を聞きながら夏休みの宿題をやった。—那須良輔『鎌倉の四季』(六興出版, 1983, p.180)



故 那須 良輔 先生

【小学生の部】

〈最優秀作品賞〉

平川 奏人(湯前小2年=中里2)

〈佳作〉

河本 陽菜(// 4年=中猪)

古市 楓(// 4年=上里3)

滝上 暖乃(// 5年=下城)

竹中 美湖(// 5年=馬場)

〈奨励賞〉

山川 結衣(// 6年=中里2)

【中学生の部】

〈最優秀作品賞〉

滝上 優芽(湯前中2年=下城)

〈佳作〉

椎葉 希望実(// 2年=古城)

竹下 心(// 3年=上里1)

田中 愛桜(// 3年=上里1)

村山 匠人(// 3年=上村)

〈奨励賞〉

井手 日珂梨(// 3年=植木)

苗床 昌幸(// 3年=野中田2)

西山 陽香(// 3年=野中田1)

平山 実侑(// 3年=上里3)

吉田 楽々(// 3年=野中田1)



表彰式の様子

NEWS 2

マンガ家を体験してみませんか

夏休みワークショップ

今月11・18日に「夏休み自由研究プロジェクト」と題し、あさぎり町・湯前町でワークショップを開催します。

メインの内容は「マンガ家のおしごと体験」。つけペンやインク、原稿用紙、コピックなどなど、プロも使う画材を使用して、マンガ家の仕事を体験します。ふだん使うペンとの違いを見つけ、画材を使うときの工夫やテクニックを学びましょう。

ほかに、会場には「おしごと調べ学習ワークシート」も設置します。「これも学習マンガだ！」選出作品から、お気に入りのマンガやキャラクターの仕事を選び、調査しましょう。

夏休みの自由研究としても取り組める内容です。ぜひ、気軽に参加してください。



1_ あさぎり会場の様子 2_ マンガ家のおしごと体験

※写真は昨年開催したときのもの

「あさぎり・ゆのまえ夏休み自由研究プロジェクト」

〈場所〉8月11日 ALOT

(あさぎり町上北1874番地)

8月18日 改善センター中会議室
(湯前町1834-1)

〈時間〉午前の部 10:30～12:00

午後の部 13:00～14:30

〈定員〉各回15人 ※申込先着順

〈参加費〉無料

〈申込方法〉専用フォームから申込み

〈その他〉6歳以下の子どもが参加するときは、保護者の付き添いが必要です。汚れてもいい服装で参加してください



専用フォーム

Information

現在休館中です

改修工事のため美術館は休館中です。教育課事務局・ミュージアムショップは利用できます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解をよろしくお願いいたします



ホームページ



X (旧Twitter)



Instagram

▲HP・SNS でまんが美術館の最新情報を発信中。ぜひご覧ください！ SNS アカウント：@yunomae_manga

Information

那須先生の作品画像を無料で利用可能！

まんが美術館に収蔵されている那須先生の作品画像を無料で利用できます。利用したいときは申請書を教育課に提出してください。くわしくは教育課に問い合わせるか、まんが美術館ホームページで確認してください 教育課 ☎0966(43)2050



『いこい』



高橋 颯希 隊員



中尾 章太郎 隊員

保健

夏に多い感染症～手足口病～



手足口病は、口の中や手足に水ぶくれが出る症状で、子どもを中心に夏に流行する感染症です。例年7月下旬にピークになると言われていますが、こしは6月に警報レベルを超えています。夏に多い感染症に加え、今年は新型コロナウイルス感染症も増加しています。基本的な感染症対策を心がけ、元気に夏を楽しみましょう！

■手足口病の特徴

①子どもに多い

乳幼児がかかりやすい感染症ですが、子どもたちが感染しやすい理由として、集団生活を送っていることや生活の距離が近いこと、自分で感染対策をすることが難しいことなどが挙げられます

②水ぶくれ(水疱性発疹)

ウイルスに感染してから3～5日後に2～3ミリの水疱性発疹が出ます。熱はあまり高くありません

③現在特効薬なし

特別な治療方法はなく、症状に応じた治療となります。数日のうちに治る病気ですが、まれに合併症や様々な症状が出ることもあるため、経過をしっかりと見て、ひどい症状がある時はすぐに医療機関に相談しましょう

④日ごろから手洗いを

治った後や発病していなくても、便などからウイルスが排せつされることがあります。感染してはいけない特別な病気ではありませんが、感染を広げないためには排せつ物を正しく処理し、ていねいな手洗いをしたうえでタオルの共用を避けることが大切です



保健師 野々原 亜紀

栄養

8月31日は野菜の日



1日の野菜摂取量(目安)

野菜には多くの栄養素が含まれていて、特にビタミンやミネラルの主な摂取源で、健康を維持していくためにも欠かせません。旬のものは特に栄養価が高いと言われています。夏野菜には暑さを乗り切るために必要な栄養素がたっぷり詰まっています。1日の野菜の摂取量の目安は約350gです。毎日350g摂取できるように心がけましょう！

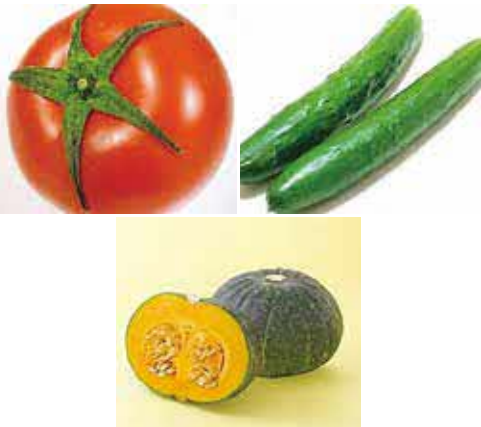
■保存方法

野菜は収穫後、日が経つに連れて鮮度が低下し、水分も蒸発します。ラップや新聞紙できっちり包んで、冷蔵庫の野菜室に入れ、なるべく早く使うようにしましょう。長期保存するときは、ゆでるなどの下ごしらえをして冷凍すると、使用するときの手間が減ります。根や葉をつけておくと身の品質が落ちるので、切り離して保存しましょう



■おいしい夏野菜の選び方

(トマト)丸く、皮に張りのある光沢の良いものを選ぶ。ひび割れや筋の入ったものは避ける。へたの部分がしっかりしたものが良い
(きゅうり)張りがあってつやの良いもの、太さが均一のものが新鮮。いぼがチクチクしているものほど鮮度が高い
(かぼちゃ)形が整っていて、色むらの無いものが良い。大ききの割に重量感があり、へたの茎が枯れているものが完熟品で甘味が強い。果肉の色は赤みが濃いほど甘く、ホクホクしている



栄養士 熊部 英恵

環境

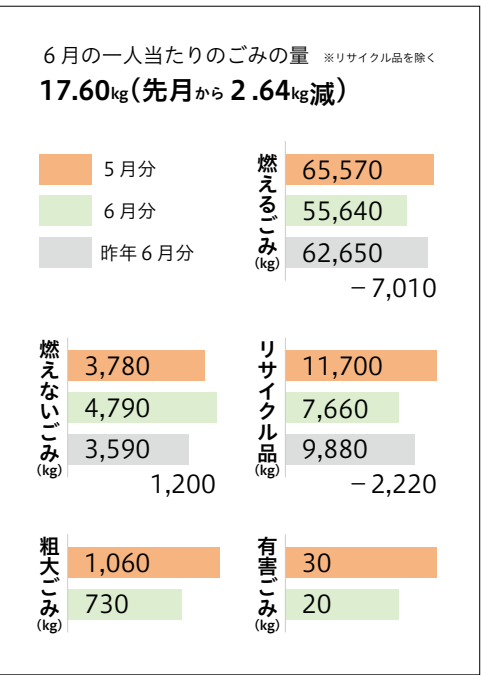
自宅周辺の片づけを

近年、プラスチックごみでの海の汚染が問題となっています。海に流れ出るプラスチックの多くは、私たちの日々の生活で出るもの。雨で川に流され、海へと流れ出ています。プラスチックごみの海への流出を防ぐため、大雨や台風の前に自宅周辺の片づけをしましょう。普段から、ごみは確実にごみ箱へ捨て、落ちているごみも拾ってごみ箱へ捨てるよう心がけることも大切です。

■ごみ出しの3原則

- ①指定のごみ袋に
- ②名前をかいて
- ③当日の朝8時までに出しましよう

※無記名のものや、前日からごみ袋を出してはいけません。



8月の不燃物収集は
7・21日(第1・3水曜日)です



人権とは、すべての人が人間として幸せに生きていくための権利です。拉致被害者は、安心して生きることや自国に

北朝鮮当局拉致問題とは

1970年代～1980年代にかけて、多くの日本人が不自然な形で行方不明となりました。同様の事件の多くは、北朝鮮当局による拉致である疑いが持たれています。現在まで17人が拉致被害者として政府に認定され、うち5人は帰国できましたが、ほかの人については今も未解決のままです。拉致の可能性は排除できない人はほかにもいます。

拉致問題を人権の視点で考えると

帰ること、幸せに生きていくための自己選択・自己決定権などの自由権を含めた、さまざまな権利が奪われていきます。拉致問題が「基本的人権を踏みにじる重大な人権侵害」と言われる理由の一つです。

私たちができること

政府には1821万筆を超える、拉致問題の解決を求める署名が集まっています。拉致問題の解決のためには、私たち一人一人が、拉致は決して許さない、そして一日も早くすべての拉致被害者を取り戻すという強い決意を示すことが重要です。

一日も早くすべての拉致被害者が帰国できるよう、一人一人が関心を寄せ続け、伝え

▼拉致問題や北朝鮮当局による人権侵害 みんなの力で解決しましょう

つなぐゆのまえー人権のひろばー



地域人権教育指導員
たつき
窪田 龍記



日本人拉致問題
ホームページ

町民憲章 Town's People Charter

- 一.健康で心豊かなまちをつくりましょう
- 一.平和・勤勉・明朗なまちをつくりましょう
- 一.自然を人を郷土を愛するまちをつくりましょう
- 一.活力があり未来あるまちをつくりましょう

私たちは湯前町民であることに誇りを持ち、豊かで明るく住みよい町にするために町民憲章をここに定めます。



8月の表紙 大きくなれよ～

6月25日、湯前小5年生が田植えを体験。苗に「大きくなれよ～」とささやき、心を込めて植えていく。秋には自分と苗の成長が楽しみです。

撮影場所 田んぼ(上里1区)

■ 婦人会だより

6月10日、湯前小・中学校・慈光こども園・湯前保育園を訪問し、会員から集めたタオルを寄附しました。ほかにも、B&G 海洋センター・高齢者福祉センター「湯愛」に寄附しました。



各施設へ寄附

■ B&G だより

湯前町B&G 海洋センタープールが、2023年度(2023年3月～2024年4月)の上屋付・屋外プールの部で利用者(人口比率)が全国1位となりました。昨年は6月～9月中旬まで開館し、7349人にプールを利用してもらいました。ありがとうございました。



表彰を受け取った長谷和人町長

■ タオル寄付・ボランティア活動

6月2日、青年団と合同で里宮神社の参道に龍のひげを植えるボランティア活動をしました。



活動後に青年団と



地域婦人会 会長
苗床 由美

■ 2023年度利用者数全国1位を獲得

ことしは6月初旬から暑い日と雨が続いています。プールでは水遊びだけではなく、泳ぎはもちろん水中ウォーキングもできます。ことしもたくさんプールを利用して、暑い夏を乗り越えましょう！

※プールを利用するときはルールを守り、利用者が気持ちよく利用できるよう協力をお願いします



B&G 海洋センター 安井 佳奈

子どもたちの支援のために、県内からまちを応援



教育の役に立てるために 龍義則さんから2度目の寄附

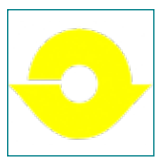
7月11日、役場応接室で「ふるさと納税寄附に対する感謝状贈呈式」を開き、長谷和人町長が龍義則さん（熊本市）に感謝状を手渡しました。

龍さんは令和5年度から本町の教育関係事業に継続して寄附を申し出ていて、今回が2回目の寄附となりました。

感謝状を受け取った龍さんは「教育分野の役に立てればと前から思っていた。湯前町には永年の付き合いから縁があるので、これからも支援させてもらいたい」と話し、長谷町長は「2回目の寄附ということで、感謝に堪えない。今回の寄附金も有効に利用しながら、高校生までの医療費無償化の実現や出生祝い金の贈呈、小中学校入学祝金、小中学生修学旅行補助事業、小中学生英語検定補助事業、スポーツ関係助成金など、数多くの支援策を実現させていきたい」とあいさつしました。

ゆのまえ

心豊かで、活力があり、未来を創造する町



町章



町の鳥「メジロ」



町の花「ツツジ」



町の木「ヒノキ」



町ホームページ



町公式LINE



町公式instagram